

単元構想シート ○○市立○○小学校 第3学年 国語科 単元名「ブックトークで『じーんとくる場面』をしょうかいしよう」 全12時間

<p>単元目標 (育成したい資質・能力)</p>	<p>○心に響く場面とそのわけとなる登場人物の気持ちの変化や情景を、場面の移り変わりや複数の場面の叙述と結び付けながら具体的に想像することができる(読むことエ)</p> <p>○本には遠い昔の時代や見知らぬ風景に出会える魅力があることに気付くことができる(知識3オ)</p>	<p>二つの側面</p> <p>A…主に文章や図、グラフから読み解き理解する力 B…主に他者とのやりとりから読み解き理解する力</p>	<p>三つのプロセス</p> <p>①発見・蓄積 必要な情報を確かに取り出す ②分析・整理 情報を比較し、関連付けて整理する ③理解・再構築 自分なりに解決し、知識を再構築する</p>
------------------------------	---	---	--

単元の流れ ○主な学習活動 □指導上の留意点	「読み解く力」を育成するための手立て	「読み解く力」の育成に重点を置いた目指す児童生徒の姿	
		A：文章・グラフ・図から	B：やりとりから
<p>①「心の鐘文庫」を設置し、本に触れる。司書によるブックトークを聞き、学習へのイメージをもつ。</p> <p>≪第1次≫</p> <p>①単元の学習内容や目的を理解し、「じーんとくる」という言葉の意味を考えたり、「ちいちゃんのかげおくり」の「じーんとくる場面」を見つけたりすることを通して、学習に対する課題意識をもつ。</p> <p>②単元のゴールにたどり着くまでの学習計画を考え、見直しをもつ。</p> <p>≪第2次≫</p> <p>③「ちいちゃんのかげおくり」のあらすじを捉える。</p> <p>④「ちいちゃんのかげおくり」の「じーんとくる場面」とそのわけを、叙述に基づいて捉える。</p> <p>⑤「ちいちゃんのかげおくり」の「じーんとくる場面」とそのわけを、場面の移り変わりや複数の場面の叙述と結び付けて考える。</p> <p>⑥≪ミニ会議①≫「ちいちゃんのかげおくり」の「じーんとくる場面」とそのわけについて、他の人や全体と共有し、自分の考えを確かにしたり深めたりして、よりよいわけにする。【本時】</p> <p>⑦「ちいちゃんのかげおくり」のブックトークを行い、グループで感想を共有し、6年生に向けて行うブックトークへの課題意識をもつ。</p> <p>≪第3次≫</p> <p>⑧「心の鐘文庫」の中から紹介する本を決め、「じーんとくる場面」とそのわけを考える。</p> <p>⑨≪ミニ会議②≫「じーんとくる場面」とそのわけを、同じ本を選んだ友達同士で共有し、よりよいわけにする。</p> <p>⑩自分が選んだ本について理解したことを基に感想をまとめる。</p> <p>⑪ブックトークの役割分担やりハーサルを行う。</p> <p>⑫ブックトークを行い、単元での学びを振り返る。</p>	<p>○目的意識をもつ工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「じーんとくる場面」とそのわけを6年生に紹介するブックトークを行うという言語活動を設定する。 ・教室に関連する図書資料(心の鐘文庫)を設置するとともに、司書によるブックトークを開催する。 ・単元の始まりにブックトークに向けて「どのような力が必要か」を児童とともに確認し、学習計画を立てる。 <p>○学びを実感できる学習展開の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わけを紹介するとき、一つの叙述だけでなく、場面の移り変わりや複数の場面の叙述と結び付けて登場人物の気持ちの変化や情景をすることで、分かりやすくなることを実感できるようにする。そのために、まず自分で考える時間を確保し、意見をもてるようにしたうえで、グループで共有させる。グループは同じ場面に注目した子ども同士で編成する。他の人とやりとりをする中で共通点や相違点に注目し、自分の考えを確かにしたり、深めたりできるようにする。 ・前半を、教科書教材での学習を通してブックトークをするために必要な力を身に付ける時間、後半をその力を活用できる時間とし、学びを定着させるようにする。 	<p>(1) 文章や資料を理解・評価しながら読む</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書教材や図書資料から「じーんとくる場面」を見つけ、そのわけを叙述を基に考えることができる。 <p>(2) 様々な情報を比較し、推論しながら取り出したことをまとめる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わけとなる登場人物の気持ちの変化や情景を、場面の移り変わりや複数の場面の叙述と結び付けて具体的に想像し、まとめることができる。 <p>(3) 解釈した内容を経験や知識に結び付けて理解し、新たな情報と関連しながら創造していく</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「じーんとくる場面」とそのわけを、学んだことや他の人とのやりとりを通して得たことを活かして、紹介することができる。 	<p>(1) 相手の言葉、しぐさ、表情をもとに相手の思いを感じ取る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やりとりをする中で、他の人の選んだ場面やそのわけを理解することができる。 <p>(2) 今までの経験に照らしながら、相手の意図や思いを正確に理解する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やりとりをする中で、他の人が、なぜその場面を選んだのか、なぜそのわけにしたのかなど、意図や理由を理解することができる。 <p>(3) やりとりを通して、相手の意図や思いを取り入れたり、相違点を明らかにしたりしながら自分の考えを深く創造していく</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他の人の選んだ場面やわけの中から自分の考えをより確かにしたり、活かせるものを選んだりして、深めたり広げたりすることができる。